

## 水害から身を守ろう!

都市での災害は地震だけではありません。水害についても日頃から、非常持出品の準備や、避難の方法などを考えておきましょう。

**正確な情報をチェック**  
雨の降り方に注意し、テレビやラジオ、インターネットで気象・避難情報を確認。危険を感じたら高台へ避難しましょう。

**避難前にガス・電気を消す**  
ガスなどの火を消し、電気のブレーカーを落としましょう。避難するときは、落ち着いて行動しましょう。

**動きやすい服装で避難**  
長靴は水が入ると歩きにくくなるので、ひもで縛る運動靴が最適。助け合えるように2人以上で行動しましょう。

**方が一、逃げ遅れた時は**  
建物のまわりが浸水してしまった場合は、無理に避難せず、近くの丈夫な建物の3階以上に逃げましょう。

**荒川区防災アプリ登場!**  
災害時にスマートフォンやタブレットで防災地図や想定される浸水の深さなどを確認できる「荒川区防災アプリ」を無料でダウンロードできます。おうちの人に知らせて、ぜひ活用してください。

★近くの避難施設への道案内  
★2つのモードで水害にも、地震にも対応  
★位置情報付きの安否メールを送信  
★英語、中国語、韓国語にも対応

問合せ 防災課 ☎内線418

ダウンロードはこちらから  
iOS Android



▲上流から東京湾まで、荒川のすべてを見ることができる地形模型。「ここが荒川区だ」と自分たちの街を発見

▲災害対策支援船から岩淵水門を見学。災害対策支援船は、大地震が起きたときに水上から堤防などの被害を調査する船で、緊急時には対策本部としての役割も果たします

▲高さ約16メートルの巨大なゲート。完全に水門を閉めるには約1時間かかります。最近閉めたのは、平成19年の台風9号接近時でした



旧岩淵水門は90年以上も前に作られたんだよ

▲旧岩淵水門の近くにある荒川の水位観測ポール。観測史上最高記録は昭和22年にカスリーン台風の接近時でAP8.6メートルです  
※AP: 荒川工事基準面



▲上流から東京湾まで、荒川のすべてを見ることができる地形模型。「ここが荒川区だ」と自分たちの街を発見



▲洪水などの危険が高まったときは、災害対策室に職員が参集し、降雨や水位の情報を分析して、沿川地域の区や市に情報を提供します



▲岩淵水門の約300メートル上流にある赤い水門が、大正13年に作られた旧岩淵水門。昭和57年まで使用され、今は東京都選定歴史的建造物として保存されています

荒川は、人工の川なんだ

最初に訪問したのは、岩淵水門の近くにある荒川知水資料館「アモア」。国土交通省・荒川下流河川事務所・池部さんから、荒川放水路や岩淵水門について説明を受けました。区の周辺が、昔から水害の多い地域だったことや、岩淵水門付近から下流の荒川が、実は人の手で作られた人工の川だということを初めて知りました。

さらに、隣の建物にある災害対策室も見学することができました。災害時の指令室にもなるこの部屋には、壁一面に大きなモニター画面が並んでおり、荒川の145か所に設置されたカメラの映像や、それぞれの場所の水位、降水量など、たくさんの情報が表示されています。

災害対策室を出て、土手を登ると目の前に大きな岩淵水門が現れます。ジュニア記者は、災害対策支援船「あらかわ号」に乗船。水上から水門に接近し、巨大なゲートの下をゆつくりと通過しました。船の上から重さ約214トンの分厚いゲートを間近で見学。大雨が1の場合に備えておきましょう。

みさんもおうちのひとと水害について話し合い、万一の場合に備えておきましょう。

# 洪水を防ぐ! 岩淵水門だ

隅田川の氾らんを防ぐ岩淵水門は、荒川区の隣の北にあり、第五中学校防災部の4人がジュニア記者として、岩淵水門と荒川知水資料館「アモア」を訪れました。

「ジュニア記者はびつくり。19年もかけて作ったなんてすごい」と声をあげました。

水をせき止める様子を想像すると、「水門が街を守っている」ことが実感できました。

岩淵水門が完成してから、区内で洪水が発生することはなくなりましたが、最近では数百年に一度という豪雨が降るようになり、水害の危険性は今までになく高まっています。

あつくん

## 思い出写真館

No.33 昭和初期～中期の水害

荒川区は隅田川(元の荒川)に面し、水害が多い地域でした。大正13年に旧岩淵水門、昭和5年に荒川放水路が完成し、水害が少なくなりましたが、大きな台風などが来ると隅田川から出水し浸水が発生していました。写真は昭和初期～中期の南千住地域で浸水が起きた際の様子です。現在の岩淵水門ができた昭和57年以降は、隅田川の氾らんによる水害は発生していません。

▲昔はひさまで浸水することがめずらしくありませんでした

## 夏休みのイベント

### 夏休みは図書館へ行こう!

南千住図書館	尾久図書館	日暮里図書館
☎ (3807) 9221	☎ (3800) 5821	☎ (3803) 1645
●科学あそびキラキラ! まんげきょうを作ろう!! 日時 7月27日(水)午後3時~4時 場所 地下視聴覚室 対象 区内在住の小学生以上 定員 30人(申込順)	●エコギターを作ろう! 日時 8月3日(水)午前11時~11時45分 場所 おはなしの部屋 対象 区内在住の4歳以上(未就学児は保護者同伴) 定員 15人(申込順)	●おめんを作ったかぶつて変身しよう! 日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)
●体験型おはなし会「おばけのおはなし会」～レジ袋でおばけをつくろう～ 日時 8月17日(水)午後3時~4時 場所 地下視聴覚室 定員 30人(申込順)	●町屋図書館 ☎ (3892) 9821	●みんなの参加を待ってるよ
●マッピングでおおきなをつくろう! 日時 7月27日(水)午後3時~4時 場所 おはなしの部屋 対象 4歳以上 定員 20人(申込順)	●科学あそび「からくりおもちゃをつくろう」 日時 8月10日(水)午後3時15分~4時 場所 おはなしのへや 対象 ひとりで作ることができるひと 定員 30人(当日の先着順)	◆全館共通 夏休み臨時開館 日時 8月22日・29日の月曜日(午前9時30分~午後5時) ※費用は、すべて無料です ※申し込みは、7月22日(金)午前9時30分から、各図書館のカウンター、または電話で受け付けます

### 荒川ふるさと文化館に集まれ! 夏休み子ども博物館

●あらかわ調べの相談室(無料)	●おめんを作ったかぶつて変身しよう!	●おめんを作ったかぶつて変身しよう!
区の歴史・文化などに関する分からないことを相談してみませんか。 日時 7月22日(金)~8月31日(水)午前9時30分~11時30分 ※但し、毎週月曜日、8月18日(木)は除く 対象 区内在住・在学の小・中学生	日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)	日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)
●親子で楽しむ展示解説(無料) 日時 7月30日(土)午前11時~正午 対象 区内在住・在学の小・中学生とその保護者	●あらかわ職人道場 区内には伝統工芸の職人さんがたくさんいます。職人さんに1日だけ弟子入りして、伝統工芸の技を体験しよう。 ★手描友禅の技で優雅な花を描こう! 日時 7月30日(土)午後1時30分、午後2時15分 対象 区内在住・在学の小・中学生 定員 各回5人(申込順)	●おめんを作ったかぶつて変身しよう! 日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)
●おめんを作ったかぶつて変身しよう! 日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)	●おめんを作ったかぶつて変身しよう! 日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)	●おめんを作ったかぶつて変身しよう! 日時 8月3日(水)午後3時30分~4時 場所 おはなしの部屋 対象 年齢目安4歳くらいから 定員 15人(申込順)

場所・申込み・問合せ  
荒川ふるさと文化館 ☎ (3807) 9234